

「分析化学」特集「医療に貢献する分析化学」の論文募集

「分析化学」編集委員会

超高齢社会に向けて、医療の質の向上と医療経済学的効果が求められており、従来の画一的な医療とは異なる、患者個人に適した有効かつ副作用の少ない治療法を設定する個別化医療が推進されています。この個別化医療には、治療的介入により発症を防止もしくは遅らせる先制医療も含まれます。個別化医療では、バイオマーカー検査により患者個人の遺伝的背景・生理的状态・疾患の状態を評価することが必須となります。バイオマーカーには、DNA、タンパク質、ペプチド、脂質、糖鎖などが挙げられますが、近年では miRNA やエクソソームも着目されるようになりました。一方、患者個人に安全で有効な薬物投与法を提供することを目的として、治療薬物モニタリング (TDM) が医療現場で実施されています。抗体医薬品をはじめとして数多くの新薬が開発されている現代では、TDM の対象となる医薬品の種類が増加していくことが予想されます。個別化医療の実現には、様々な種類の生体分子や医薬品を計測するための分析化学的手法の開発が要求されており、分析化学が果たす役割は大きいと考えられます。さらに、患者の傍らでリアルタイムに臨床検査を実施する臨床現場即時検査 (POCT) の重要性も認識されており、“いつでも” “どこでも” “誰でも” 生体分子を計測できる手法や小型計測機器の開発が求められています。このような背景から、「分析化学」編集委員会では、「医療に貢献する分析化学」と題した特集を企画しました。本特集では、画像診断も含めてバイオマーカーや医薬品を計測するための分析法の開発、小型計測機器の開発などを対象とします。個別化医療や POCT に関連する幅広い分析技術についての論文投稿をお待ちしております。奮ってご投稿ください。

記

1. **特集論文の題目：「医療に貢献する分析化学」**
2. **特集論文の対象：**以下の例のような「医療に貢献する分析化学」に関する論文。
 - 1) バイオマーカーまたはその候補となる生体分子計測の最新技術や分析法の開発、2) 生体試料中の医薬品を計測する手法の開発、3) CT, MRI, PET などの画像診断に関連した分析技術、4) POCT を指向した分析手法、5) 小型計測機器の開発など。
3. **論文の種類：**総合論文、報文、技術論文、ノート、アナリティカルレポート。
4. **特集論文の投稿規定及び投稿の手引き：**一般論文に準拠（「ぶんせき」2016, No.3, 又は URL= <http://www.jsac.jp/sites/default/files/toko-j.pdf> 参照）。
5. **特集論文の審査方法：**一般論文に準拠。
6. **特集論文の申込方法：**投稿カード (Excel ファイル) に所定の事項を記入 (論文種目欄と特集名「医療に貢献する分析化学」を選択) し、「分析化学」編集委員会あてにお申し込みください。投稿カードのうち、題名、著者は暫定のもの、原稿予定枚数などの未定部分の記載は不要です。投稿も電子メールにてお願いします。テンプレートによる投稿要領 (<http://www.jsac.jp/node/51>)を参照してお送りください。
7. **特集論文申込締切：2016年10月7日(金)**
8. **特集論文原稿締切：2016年12月2日(金)**
9. **特集論文の掲載：**期限内に審査を通過した論文は特集論文として「分析化学」第66巻第6号に掲載の予定です。ただし、期限を超えた論文については、一般論文として他の号に掲載する場合があります。
10. **特集論文に関する問い合わせ先：**〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 (公社)日本分析化学会「分析化学」編集委員会 [電話：03-3490-3537, E-mail : bunkatoukou@jsac.or.jp, URL =<http://www.jsac.jp/node/47>]